

平成19年度
「千葉県国民保護共同実動訓練」
の実施結果について

千葉市

目 次

1	訓練の概要	3
(1)	目的	3
(2)	実施日時	3
(3)	想定	3
(4)	主な訓練実施場所及び実施内容	3
(5)	参加機関	5
2	訓練シナリオの概要	6
3	訓練の実施結果	8
(1)	爆破テロに伴う救助、救護及び搬送	8
(2)	化学テロに伴う検知・救助・除染、武装グループ鎮圧及び救出	13
(3)	住民避難、救援	17
(4)	緊急対処事態対策本部等の設置運営	21
(5)	合同対策協議会運営訓練（国・県・市・関係機関）	24

1 訓練の概要

(1) 目的

国民保護法に基づき、国、地元地方公共団体、その他関係機関及び地域住民が一体となった共同の実動訓練を実施し、関係機関の機能確認及び関係機関の相互の連携強化を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を図る。

(2) 実施日時

平成19年11月21日（水） 11：00～14：30

（訓練上の想定時間 9：00～12：30）

(3) 想定

千葉市内の鉄道駅等において連続爆破事案が発生したことにより多数の死傷者が発生。また、東京湾に侵入した不審な貨物船から化学剤が散布されるとともに、さらに大量の散布を示唆。

(4) 主な訓練実施場所及び実施内容

- ① JR海浜幕張駅及び南口広場（千葉市美浜区ひび野）
 - ・ 爆破テロに伴う救助、救護及び搬送
- ② 幕張新都心ヘリポート
 - ・ 政府派遣要員の到着
 - ・ 負傷者の航空搬送
- ③ 千葉港千葉中央埠頭
 - ・ 化学テロに伴う検知、救助、除染
 - ・ 武装グループの鎮圧、救出
- ④ 千葉港周辺（千葉みなと駅西口広場、千葉港湾事務所、みなと公園）
 - ・ 住民避難
- ⑤ 千葉市中央コミュニティセンター（千葉市中央区千葉港2-1）
 - ・ 避難住民に対する救援
- ⑥ 千葉市役所（千葉市中央区千葉港1-1）
 - ・ 千葉市緊急対処事態対策本部設置運営等
- ⑦ 千葉県庁（千葉市中央区市場町1-1）
 - ・ 合同対策協議会（国・県・市・関係機関）の開催
 - ・ 千葉県緊急対処事態対策本部設置運営等
- ⑧ 総理大臣官邸（東京都千代田区永田町2-3-1）
 - ・ 千葉県庁とのTV会議



図1 主な訓練実施場所

(C)ALPS MAPPING K.K.

(5) 参加機関（104機関 約1,300人）

- ① 主催者
内閣官房、千葉県、千葉市
- ② 指定行政機関
警察庁、消防庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、防衛省
- ③ 指定地方行政機関
関東管区警察局、関東農政局、関東経済産業局、関東地方整備局、関東運輸局、第三管区海上保安本部（本部、千葉海上保安部、横浜海上保安部、羽田航空基地、羽田特殊救難基地）
- ④ 指定公共機関、指定地方公共機関
東日本旅客鉄道株式会社、日本赤十字社千葉県支部
- ⑤ 警察関係
千葉県警察本部、千葉市警察部、千葉県警察千葉中央警察署、千葉県警察千葉西警察署
- ⑥ 消防関係
千葉市消防局、千葉市消防団、習志野市消防本部、船橋市消防局、東京消防庁、さいたま市消防局
- ⑦ 自衛隊関係
陸上自衛隊（東部方面総監部、第1師団、中央即応集団司令部、第1空挺団）、海上自衛隊（横須賀地方総監部）、航空自衛隊（航空総隊、第1補給処）、千葉地方協力本部
- ⑧ その他関係機関
千葉県救急医療センター、日本DMAT（筑波メディカルセンター病院、川口市立医療センター、国立病院機構災害医療センター、藤沢市民病院）、日本医科大学千葉北総病院、千葉県消防学校

2 訓練シナリオの概要 〈千葉県が主に関わる事項は、ゴシックで表示。(消防局を除く)〉

訓練上の 想定時刻	実施時刻	実動訓練		図上訓練（本部設置運営訓練）		
		【A事案】同時爆破テロ (JR 海浜幕張駅)	【B事案】発砲・化学剤一部散布 (千葉港)	市 (市役所8階正庁)	県 (県庁)	国 (官邸)
9:00	11:00	訓練開始 駅構内爆破テロ ・救出・救助	想定 不審貨物船から発砲	訓練開始		
				00 同時爆破・不審貨物船発砲 情報入手【A, B事案】 07 市警戒本部設置 20 救助・医療救護状況の確認、搬送先病院の手配等	07 県本部設置 20 災害派遣医療チーム(DMAT) 派遣要請 25 自衛隊派遣要請	15 官邸対策室設置 20 現地対策本部要員派遣
9:30	11:30	・現地調整所設置 ・負傷者のヘリ広域搬送 ・警察、消防県内応援部隊活動開始 ・緊急消防援助隊、広域緊急援助隊到着、活動開始	犯行予告	30 犯行予告受領【B事案】 45 第1回本部員会議	本部会議	対処方針検討
10:00	12:00	・救出活動完了・ 訓練終了	サリン保有情報入手	00 サリン保有情報入手【B事案】 07 避難実施要領検討開始		06 安全保障会議開催 10 臨時閣議開催
10:30	12:30			30 国による事態認定 35 市緊急対処事態対策本部設置 住民へ警報の伝達 ← 45 第2回本部員会議	32 県緊急対処事態対策本部設置 ←警報の通知 40 第1回合同対策協議会 (最初の10分は国・県TV会議)	30 対処方針決定 緊急対処事態対策本部設置 ←警報の発令
11:00	13:00		訓練開始 不審貨物船からサリン散布	00 サリン一部散布 情報入手【B事案】 08 退避の指示 19 避難実施要領通知 ← 25 住民避難開始の指示	08 緊急通報の発令 ←16 避難の指示の発出	
11:30	13:30		・負傷者救助・搬送 ・船内人質救出			
12:00	14:00		・避難住民避難所到着・避難所運営開始 ・犯人グループ鎮圧		20 第2回合同対策協議会	
12:30	14:30		訓練終了	30 訓練終了	共同記者会見 (~15:10)	

表1 訓練シナリオの概要



図2 訓練想定

(C)ALPS MAPPING K.K.

3 訓練の実施結果

(1) 爆破テロに伴う救助、救護及び搬送

① 場所

海浜幕張駅及び南口広場
(千葉市美浜区ひび野)

② 時間

11:00~12:00
(訓練上の想定時間 9:00~10:00)

③ 概要

爆破テロの発生に伴って発生した多数の死傷者に対する救助及び応急医療活動等の災害対処訓練を行った。



実時刻	訓練内容
11:00	事案発生
	千葉県警察が爆発物を回収、現場の安全を確認
	千葉市消防局、トリアージポスト・応急救護所を設置
	日本赤十字社、千葉県救急医療センターDMAT 到着 トリアージ、応急救護を実施
	千葉県内応援消防（船橋市、習志野市）到着
	千葉県、千葉市職員到着、現地調整所を設置
11:20	駅構内の救助開始（実動上の被害者数） （死者4名、重症者13名（内、瓦礫下8）、中等者30名、軽症30名）
	負傷者の搬送を開始（幕張新都心ヘリポート、救急医療センター）
	陸上自衛隊到着、駅構内での救助開始
	緊急消防援助隊到着、駅構内での救助開始
	東京都、埼玉県、神奈川県、茨城県から DMAT 到着 トリアージ、応急救護、CSM の実施
	瓦礫下の被害者を救助
12:00	負傷者の搬送を完了



・爆破テロ現場での救出・救助



・カッターによる瓦礫の撤去



・大野官房副長官、藤代副市長、堂本県知事現地視察



・医療機関、消防によるトリアージ



・瓦礫下の被害者の救助



・消防による負傷者の搬送



・現地調整所における実動機関の連携



・重症患者のヘリ搬送

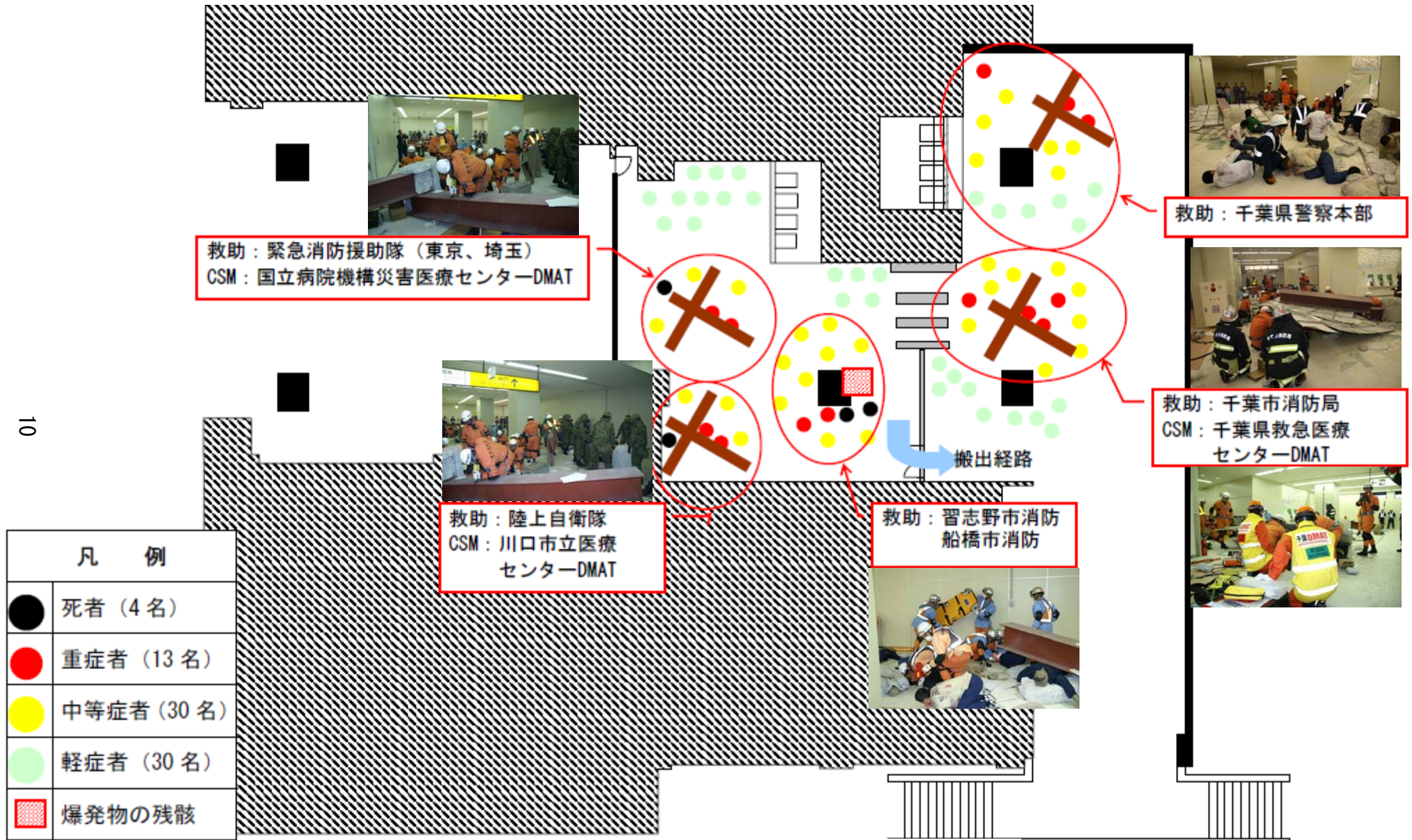


図3 海浜幕張駅構内での被害発生状況と救助活動



図4 海浜幕張駅での被害者救出・救助活動

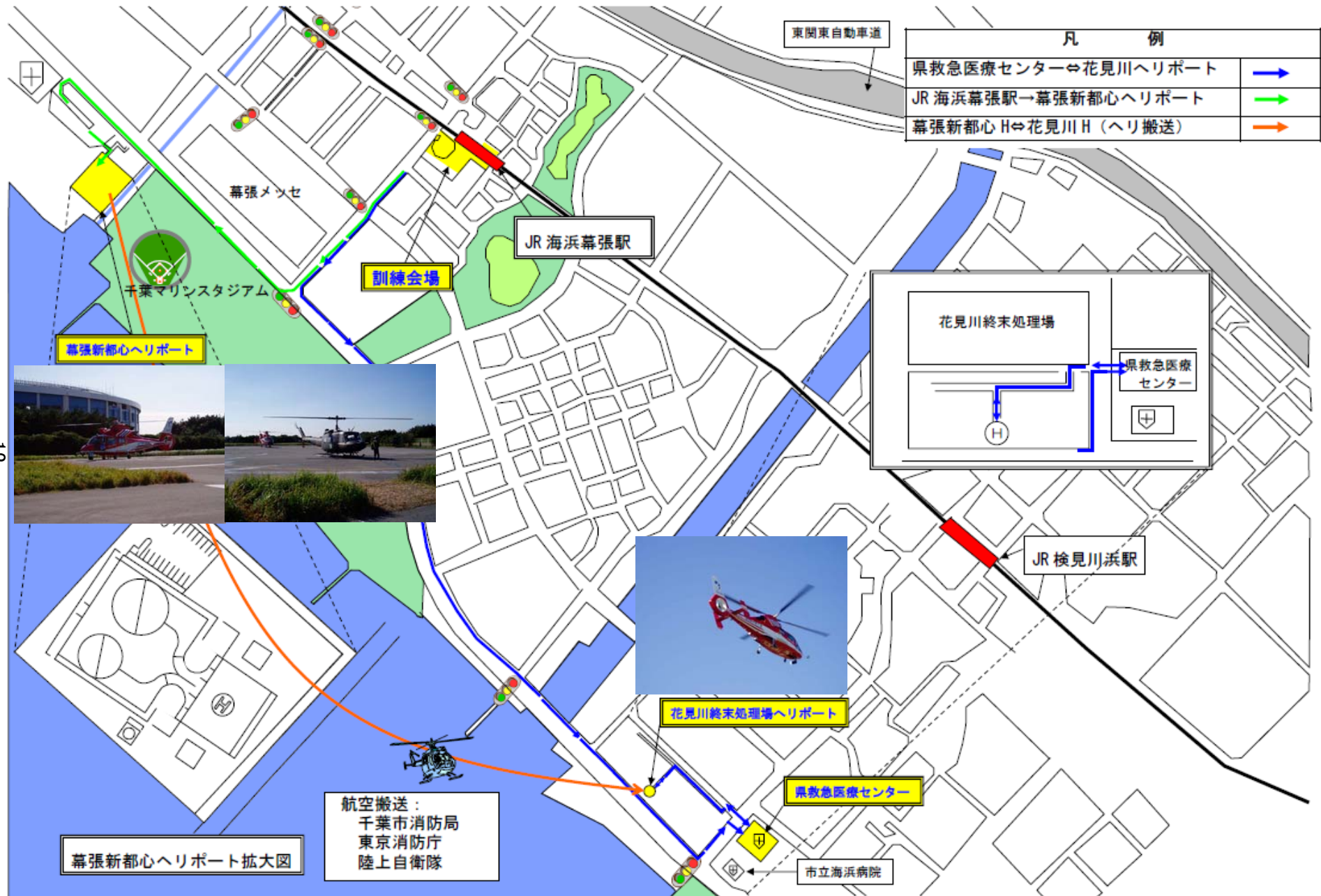


図5 ヘリによる負傷者搬送

(2) 化学テロに伴う検知・救助・除染、武装グループ鎮圧及び救出

① 場所

千葉港千葉中央埠頭（Iバース）



(C)ALPS MAPPING K.K.

② 時間

13:00～14:30（訓練上の想定時間 11:00～12:30）

③ 概要

海上から散布された化学剤（サリン）テロ現場における検知・負傷者救助・除染活動及び武装グループの鎮圧、人質の救出活動を行った。

実時刻	訓練内容
13:00	サリンの一部が散布され、埠頭にいた人が負傷（8人）
	警察・消防・自衛隊車両進入、化学剤検知
	消防による除染所の設置
	消防、警察によるゾーニング
	警察による証拠物等の採集
	救助活動、除染及び搬送の実施
13:45	陸上自衛隊によるエリア除染の開始
13:55	海上へ脱出した人質のヘリ救助
	海上保安庁による貨物船への突入開始
	武装グループを鎮圧
14:20	貨物船内の乗組員の救助



・化学剤散布により負傷者発生



・警察、自衛隊による化学剤の検知



・消防、警察による被害者の救助



・エリア内に設置された除染所



・負傷者の搬送



・海上保安庁による船上の武装グループ鎮圧



・船内の人質の救出



・海上保安庁による人質の吊り上げ救助

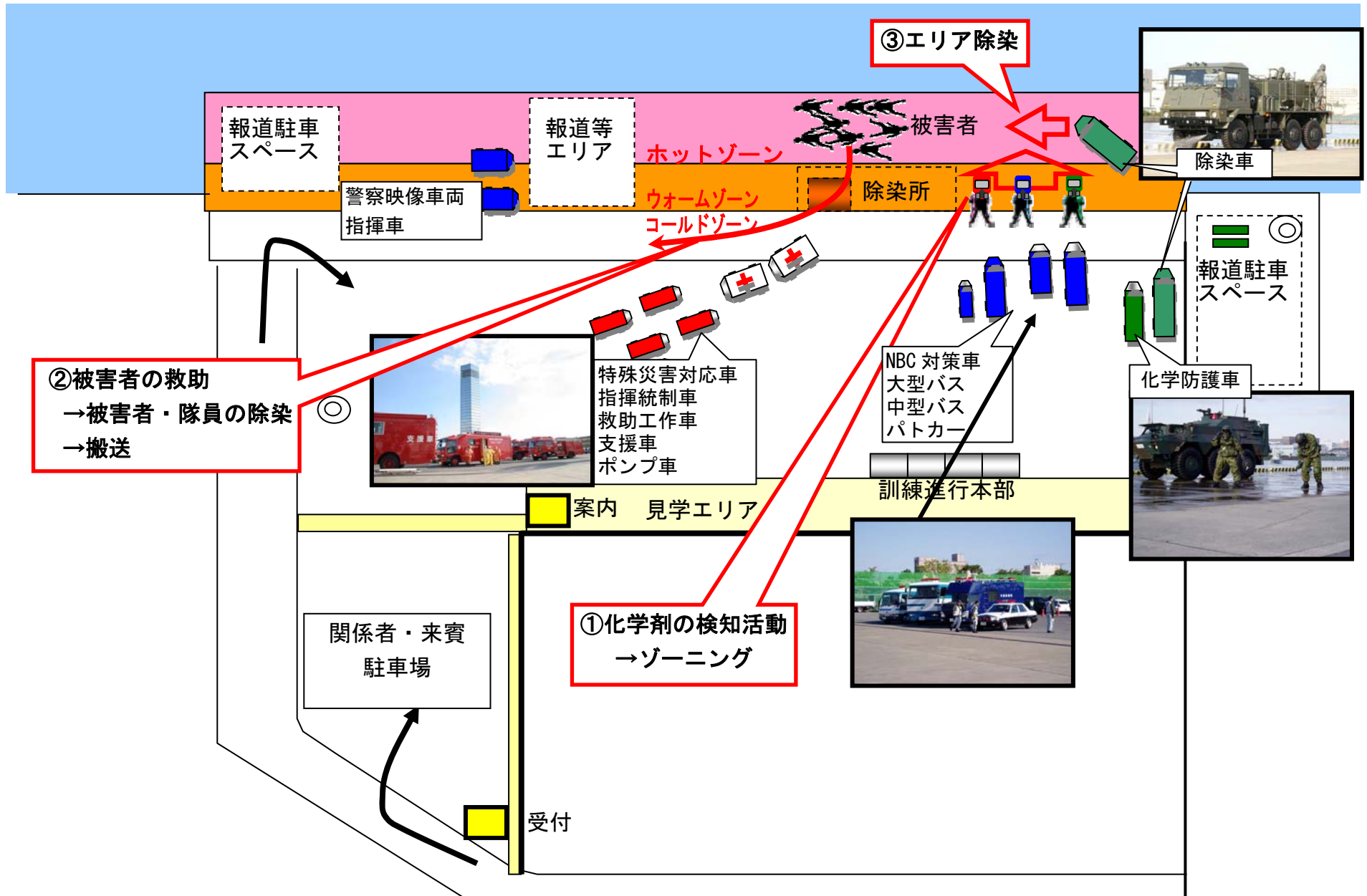


図6 千葉中央埠頭での化学剤テロ対応活動

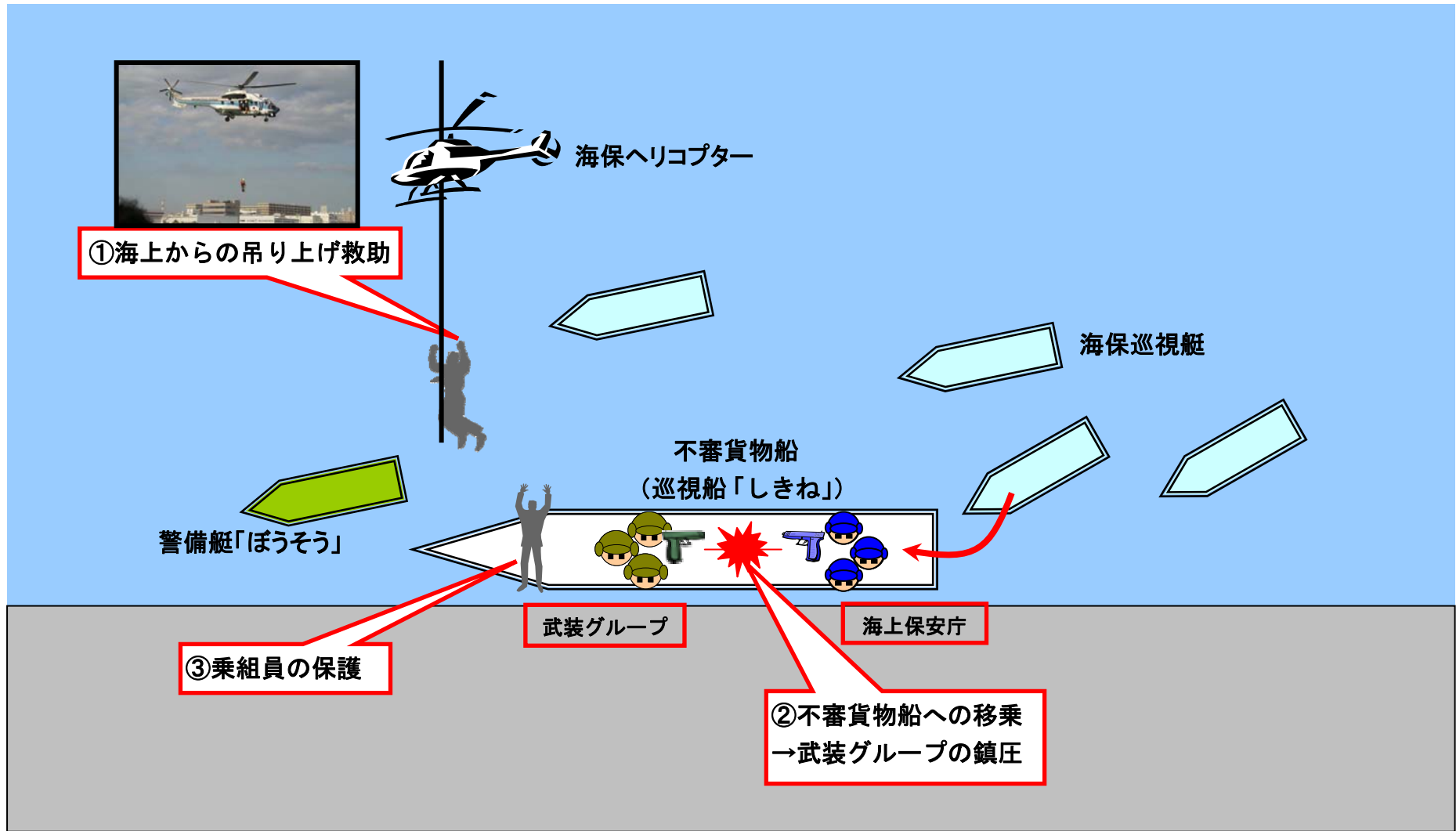


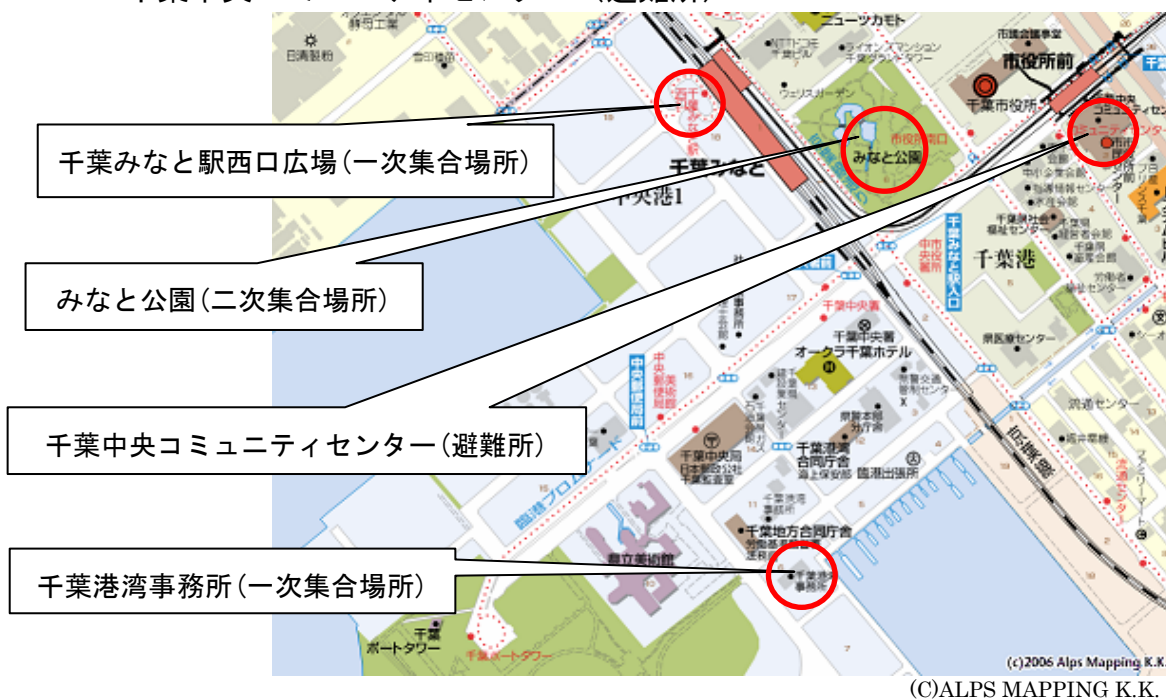
図7 千葉中央埠頭での武装グループ鎮圧活動

(3) 住民避難、救援

① 場所

千葉港周辺

- ・千葉みなと駅西口広場（一次集合場所）
- ・千葉港湾事務所（一次集合場所）
- ・みなと公園（二次集合場所）
- ・千葉中央コミュニティセンター（避難所）



② 時間 13:00～14:30（訓練上の想定時間 11:00～12:30）

③ 概要

武装グループによる海上からのサリン散布予告に伴い、緊急対処保護措置として付近住民の避難及び避難所における救援活動を行った。



・警察、消防の護衛により、住民の避難誘導を実施

実時刻	訓練内容	
13:00	避難実施要領の広報、一次集合場所（千葉みなと駅西口広場、千葉港湾事務所）集合	
	【JR千葉みなと駅西口集合者】	【千葉港湾事務所集合者】
13:22	一次集合場所を出発	
13:25		一次集合場所を出発
13:32	二次集合場所（みなと公園）到着	
13:37	避難所に向け避難バス出発	
13:45		二次集合場所（みなと公園）到着
13:47	避難所到着	
	救援	
13:50	↓	避難所に向け避難バス出発
14:00		避難所到着
14:30		救援



・ JR千葉みなと駅西口広場（一次集合場所）



・ 千葉港湾事務所（一次集合場所）



・警察、消防の協力のもと住民の避難誘導を実施



・みなと公園（二次集合場所）へ移動



・みなと公園（二次集合場所）へ到着



・みなと公園より大型バスに乗車して避難所へ移動



・医師・保健師による応急救護、健康相談



・安否情報の収集



・大野官房副長官、鶴岡市長、白戸副知事避難所視察



・居住スペースにて救援物資を配布

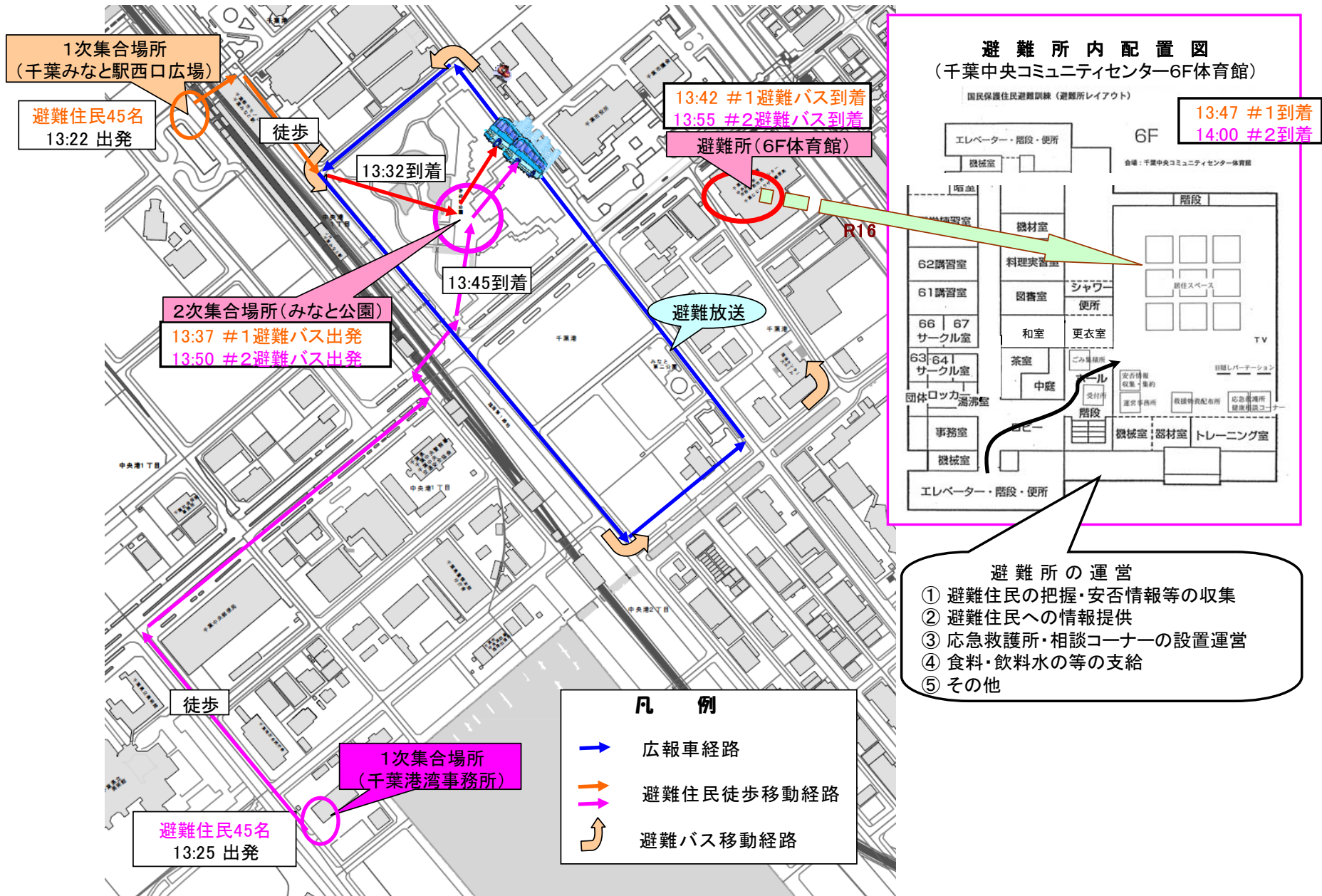


図8 住民避難及び避難所運営活動

(4) 市警戒本部及び緊急対処事態対策本部等の設置運営

① 場 所

千葉市役所 8階正庁

② 時 間

11:00～14:30

(訓練上の想定時間 9:00～12:30)

- ・ 第1回本部員会議 11:45～12:05
(想定時間 9:45～10:05)
- ・ 第2回本部員会議 12:45～13:05
(想定時間 10:45～11:05)



③ 概 要

事案発生 of 連絡を受け、市警戒本部を設置。県及び関係機関と連携し初動措置を実施した。さらに、国による事態認定に伴い、市緊急対処事態対策本部へ移行、住民の避難実施要領の検討など緊急対処保護措置等の対応にあたった。

また、県庁内に政府による現地対策本部が設置され、国・県・市・関係機関による合同対策協議会が行われた。

※市緊急対処事態対策本部等の設置運営訓練については、事前に詳細な訓練シナリオを提示しない、いわゆる「ブラインド式」を一部採り入れて実施した。



・ 情報集約班 (被害情報等の収集など)



・ 情報集約班 (集計、作図など)



・ 情報集約班 (集計・記録など)



・ 統括班 (被害情報等を確認し対応を検討)



・統括班（各局対策部との調整、対応協議）



・統括班（臨時会議を召集、全体で対応を協議）



・広報・報道班（報道機関との連絡調整など）



・各局本部連絡員（所管・本部間との連絡調整など）



・第1回本部員会議開催（鶴岡本部長、林副本部長）



・本部員会議全体風景



・第2回本部員会議開催（林副本部長、藤代副本部長）



・林事務局長より避難実施要領について説明

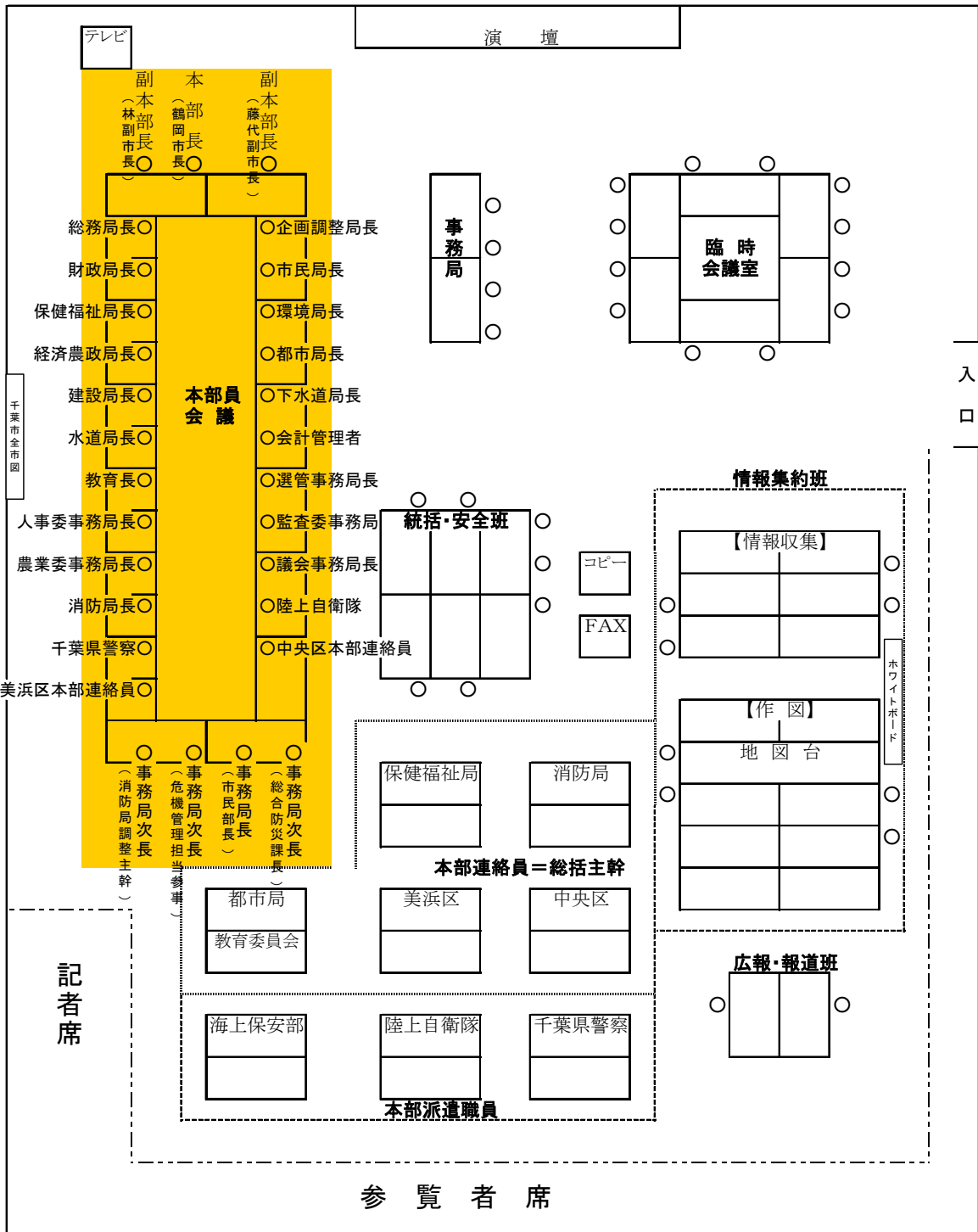


図9 市対策本部配置図

(5) 合同対策協議会運営訓練（国・県・市・関係機関）

① 場所

千葉県庁 5階災害対策本部室

② 時間

第1回合同対策協議会 12:40～13:20（訓練上の想定時間 10:40～11:20）

第2回合同対策協議会 14:20～14:30（ “ ” 12:20～12:30）

③ 概要

政府緊急対処事態現地対策本部、千葉県、千葉市及び関係機関（警察、消防、海保、自衛隊等）による合同対策協議会が開催された。

（第1回 合同対策協議会）

- ・ 事態の状況に関する情報共有及び緊急対処保護措置に関する協議等の実施。
- ・ 政府緊急対処事態対策本部（総理大臣官邸）とのTV会議の実施。
- ・ 避難実施要領の検討、今後の対応方針等の確認を行った。

<出席者>

内閣官房副長官 大野 松茂（政府緊急対処事態現地対策本部長）

千葉県知事 堂本 暁子（千葉県緊急対処事態対策本部長）

千葉市長 鶴岡 啓一（千葉市緊急対処事態対策本部長）

（総理大臣官邸とのTV会議）

内閣官房長官 町村 信孝



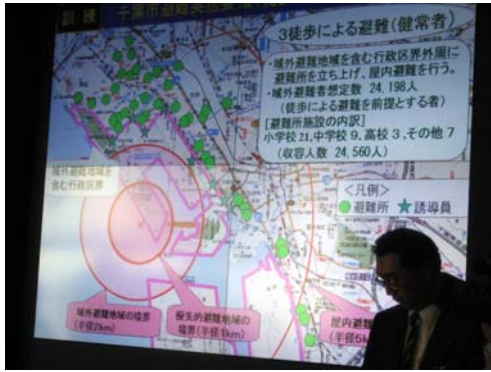
・ 第1回合同対策協議会開催（千葉県庁5階災害対策本部室）



・ 町村官房長官（官邸）とのTV会議



・ 不審貨物船（千葉港）現場からのヘリ映伝



・千葉市が作成した住民の避難実施要領（案）



・太田市民局長より避難実施要領について説明

（第2回 合同対策協議会）

- ・第2回合同対策協議会では、住民避難が完了したことを受け、海上保安庁が中心となり犯人グループの鎮圧活動を実施。船内の不審物も全て押収した旨の政府現地対策本部長（大野官房副長官）より報告があった。
- ・「避難措置の指示」解除について、国対策本部（官邸）と協議を行い、14：30訓練が終了した。



・訓練終了後の講評・挨拶（左から鶴岡市長、堂本県知事、大野官房副長官）



・合同記者会見（左から鶴岡市長、堂本県知事、大野官房副長官、井上内閣官房審議官）

合同対策協議会 実施場所

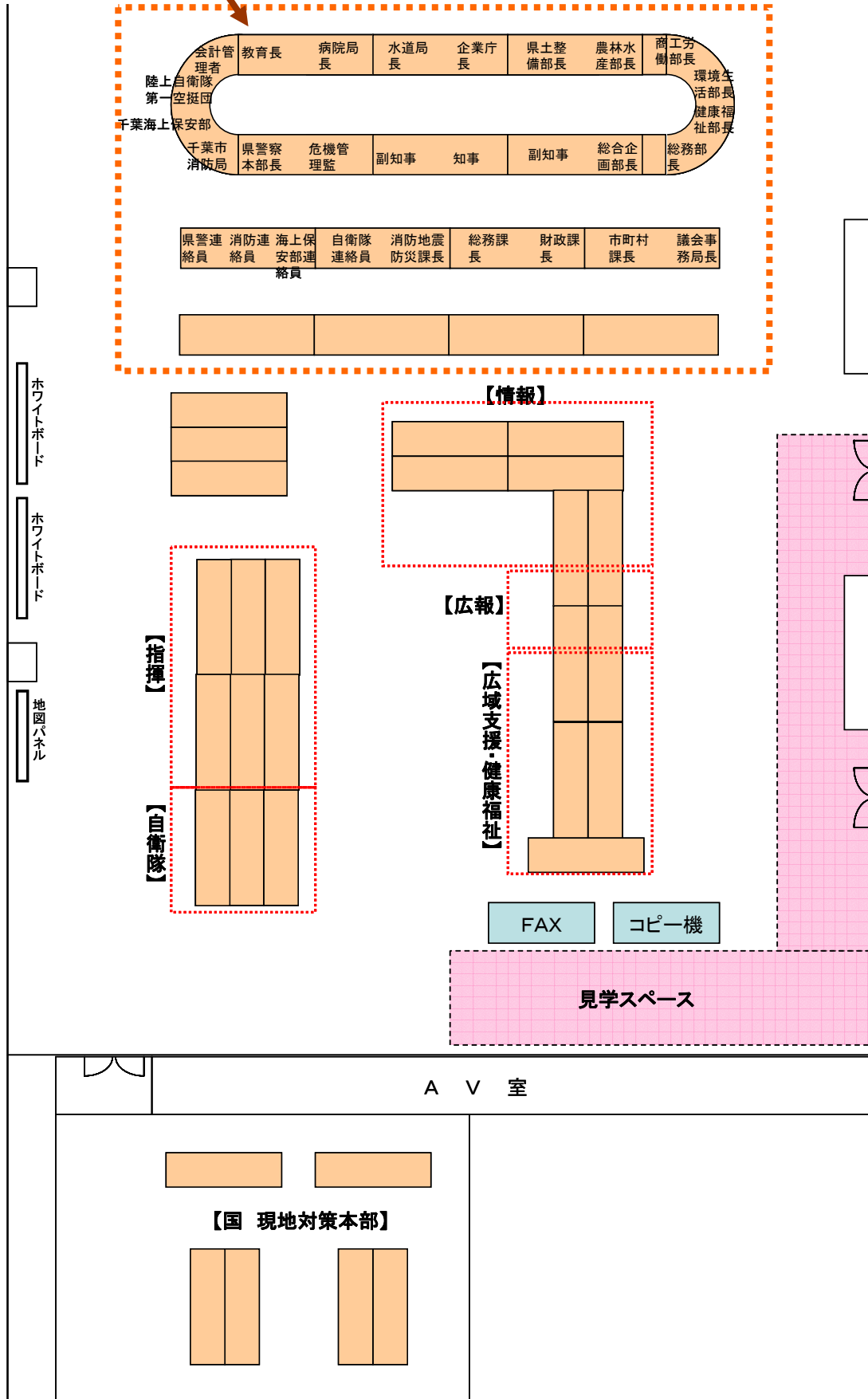


図 10 県対策本部配置図

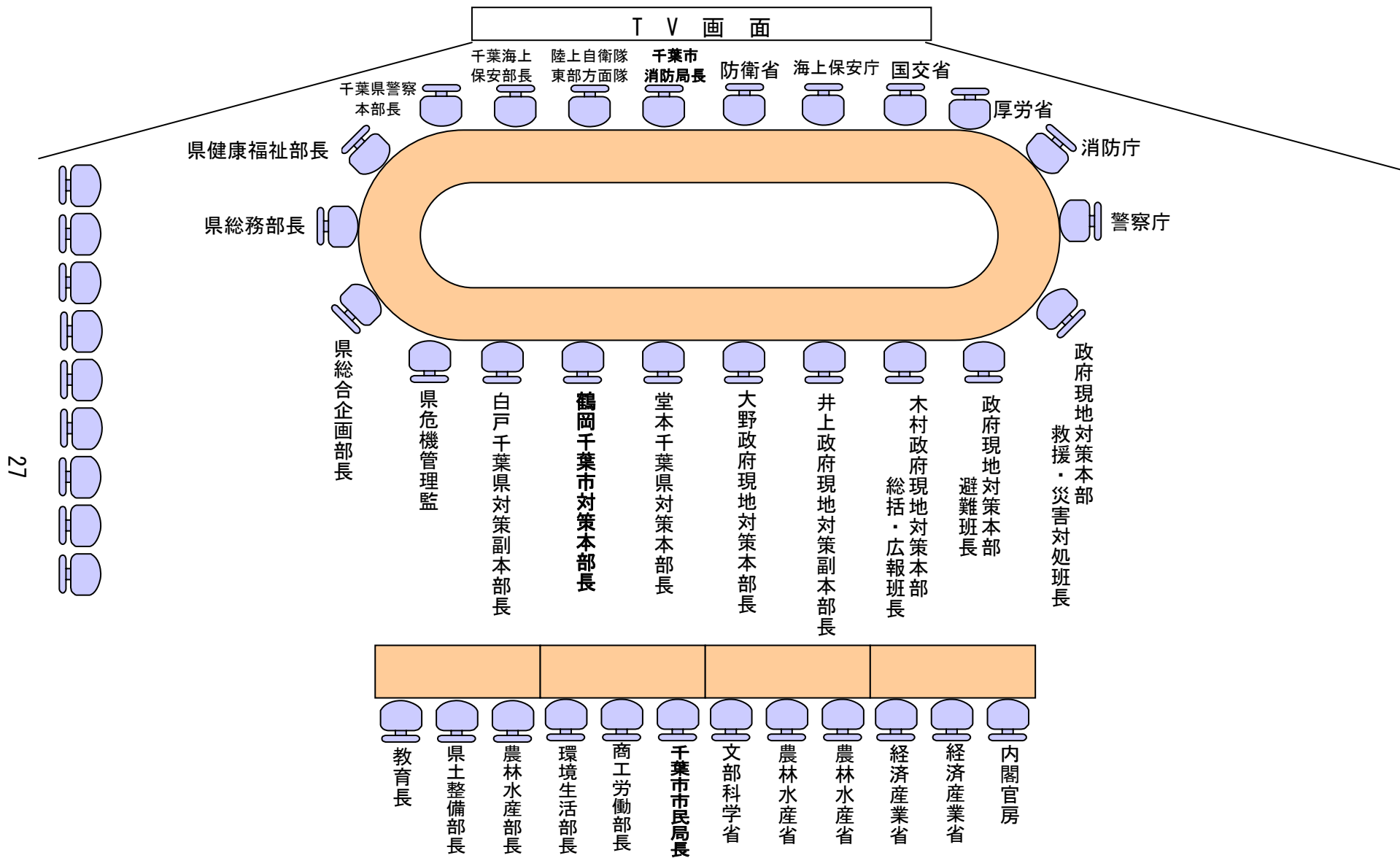


図 1 1 合同対策協議会配置図